

事業概要：「飛鳥・藤原の宮都」世界遺産登録を契機としたにぎわいのまちづくり事業

| | | | | | | | |
|---|---|---|--------|--|----------|---|---|
| 申請者 | 奈良県明日香村 | | | | | 初回採択回 | 令和8年1月募集 |
| 事業計画期間 | R8-R10年度 | | | | | 期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費) | 340,850千円 (39,950千円) |
| 事業類型 | ソフト事業 | ✓ | 拠点整備事業 | | インフラ整備事業 | | |
| 目的・効果 | <ul style="list-style-type: none"> ・「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録にあわせて、村特有の文化的資産を最大限に活用する。 ・関係人口を積極的に受け入れ、明日香法による規制下でも地域の活力を維持する。 ・観光と農業を軸として、明日香村ならではの地場産業を発展させる。 ・唯一無二の資源をフルに活用し、「飛鳥ブランド」により明日香村の価値を高め、大きな経済波及効果を生み出す。 | | | | | | |
| 事業概要・ 主な経費 | <p>【事業概要】 明日香村は、2026年の世界遺産登録、2027年の民間高級宿泊施設開業を契機として、観光消費拡大とオーバーツーリズム抑制を両立する仕組みを構築する。村のゲートウェイである飛鳥駅周辺を拠点として再整備し、回遊性と利便性を高めるとともに、西明日香エリアにて企業等の参入を促し地域経済を活性化する。また、駐車場の有料化等で持続的な財源を確保し、交通需要の制御により環境保護と住民生活を維持するモデルを築く。さらに、地下遺構をVR等で可視化して滞在型観光を促し、文化財保護への意識を醸成する。加えて、共通のデザインルール策定により飛鳥ブランドを統一・強化し、付加価値の高い観光消費と強力な情報発信を通じて地方創生を具現化する。</p> | | | | | | |
| | <p>【R8年度事業 経費内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛鳥駅周辺の機能強化検討（委託料）21,000千円 ・明日香村地域交通リ・デザイン（委託料、需用費）2,700千円 ・デジタル技術によるデジタルコンテンツ作成（委託料）8,250千円 ・飛鳥ブランド構築・活用の検討（委託料、需用費）8,000千円 | | | | | | |
| 主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値 | <ul style="list-style-type: none"> ①村内観光消費消費額（+2,457,800千円） ②宿泊者数（+43,000人） ③農業粗生産額（+0.3億円） | | | | | URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL | https://www.asukamura.jp/gyosei_ippan.html |